



つよい子

令和7年度 学校だより

第6号

余市町立大川小学校

令和7年8月29日

【令和7年度 重点目標】 ◎ 『伝わること』を意識して生き生きと表現する子の育成
◎ 思いやりの心を持ち ルールとマナーを守る子の育成

子どもがつくる 温かな空気

～「表情」と「ひと言」と～

校長 大山 敏広

8月25日の朝、久しぶりに登校する子どもたちは、なんだかひと回り大きくなったような印象を受けました。夏の思い出話が口から溢れそうでもあり、夏休みが終わってしまった悲しみをぐっとこらえるこらえているようでもあり…。そんな様子を見守りながら、子どもたちが過ごした夏休みを想像していました。

2学期の始業式には、子どもたちへ3つのことを伝えました。

1. 夏休みが終わったので、生活のリズムが変化しますね。生活リズムが大きく変わると不安や悩み、体調不良等が出てくる場合があります。これは、ごくごく自然な心の反応です。遠慮することなく、誰かに話すようにしましょう。お家の人、先生方、友だち…私たちの周りには、困った時に必ず力になってくれる人がいます。心配事を相談するのは、決して恥ずかしいことではありません。
2. 2学期には「こんなことができるようになりたいな。」「こんな人になりたいな。」…憧れでも構いません。なりたい自分のイメージを持ちましょう。実現できるかどうかは別。挑戦しようとする気持ちを持って、そのイメージに向かう毎日が、きっと自分の「幸せ」へとつながるはずですよ。一生懸命がんばる場面と力を抜いて楽しむ場面の『めりはり』をつけながら挑戦してほしいです。
3. 『ちょっとしたひと言』を大切にして、みんなで大川小学校に温かな空気をつくっていきましょう。「大丈夫?」、「ありがとう」、「助かったよ」、「はい、どうぞ」、「すごいね」、「ごめんね」、「おつかれさま」…等々。短い言葉ですが、これらの言葉には自分の周りの空気を明るく、和やかにする力があります。生活する場所が温かな空気に包まれると安心して毎日を過ごすことができますね。挨拶もこれと同じ。自分が豊かに、気持ちよく生きるため、自分の味方になってくれる言葉です。



◆私は、始業式や終業式、全校朝会などで体育館のステージ上から全校の子どもたちへ話すことが多いのですが、大川小学校児童の話の聞き方や話に対する反応にいつも感心しています。「聞こう」とする姿勢、鋭い視線を向ける子どもたちを頼もしく、誇らしく見ています。そして、このことは素直に伸びようとしていることの証のようにも感じます。

◆学習の様子を見ようと、授業中に校舎を回ります。その際、学習の邪魔になってはいけないと思い、廊下から窓越しに様子を見ることもあります。私の存在に気づき目の合った子が、軽く会釈をしたり、笑顔を見せてくれたりします。またある子は、「あっ、校長先生だ! どうぞ入ってください」と声をかけてくれます。『授業の邪魔になってしまった…申し訳ない』と反省・恐縮しながらも、その子どもたちの所作には温かさを感じます。(ありがとう。勉強中は、挨拶なしでよいですからね(笑)。)

◆伸びようとする真っ直ぐな

大川小学校の子どもたち。

2学期も「温かくも厳しく。

厳しくも温かい。」両面か

らの指導で子どもたちの未

来を保障することができ

よう、職員一体となって努

めていきます。

2学期も引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



< 交通事故に十分に注意を! >

特に自転車の乗り方には、気をつけましょう。

ヘルメットの着用も努力義務となっています。

■スピードを出しすぎない ■交差点では必ず止まる

■左右を何度も確かめる

■自転車を降りて横断歩道を渡る

■交通ルールやマナーを守る

絶対に悲しい事故を起こさないように、
大人みんなで見守り、指導しましょう!

